

第2部 宮崎県の男女共同参画の現状と取組

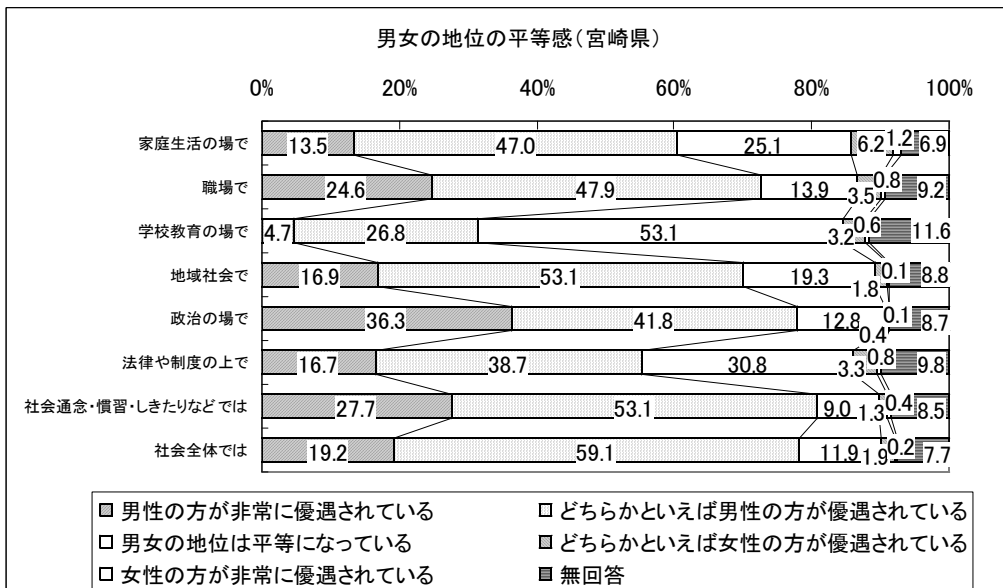
第1章 男女平等意識の確立

1 現状と課題

(1) 男女平等を推進する教育・学習の充実

本県では、これまで様々な男女共同参画施策が進められてきたが、性別による固定的な役割分担意識やそれに基づく慣行などが依然として根強く存在しており、真の男女平等には至っていない状況にある。

宮崎県が平成12年9月、県内在住の20歳以上の男女3,000人を対象に実施した「男女共同参画社会づくりのための県民意識調査」(以下「県民意識調査」という。)によれば、男女の地位の平等感について、社会全体では約8割の県民が「男性の方が優遇されている」と答えている。また、分野別に見ると、①社会通念・慣習・しきたり(80.8%)、②政治の場(78.1%)、③職場(72.5%)、④地域社会(70.0%)について不平等感が高くなっている。



資料：「男女共同参画社会づくりのための県民意識調査」(宮崎県 平成12年)

男女平等の意識や自立の意識を育むためには、家庭、学校、地域における教育・学習の果たす役割は極めて重要であり、男女平等の理念を推進する教育・学習の一層の充実を図る必要がある。

(2) 個性を尊重する学校教育・地域活動の推進

男女共同参画社会において、男女がその個性と能力を発揮して社会のあらゆる分野に参画していくためには、生涯にわたり多様な学習機会が確保されることが重要である。

地域社会においては、家庭や学校では経験できない様々な体験や集団生活の経験などの機会

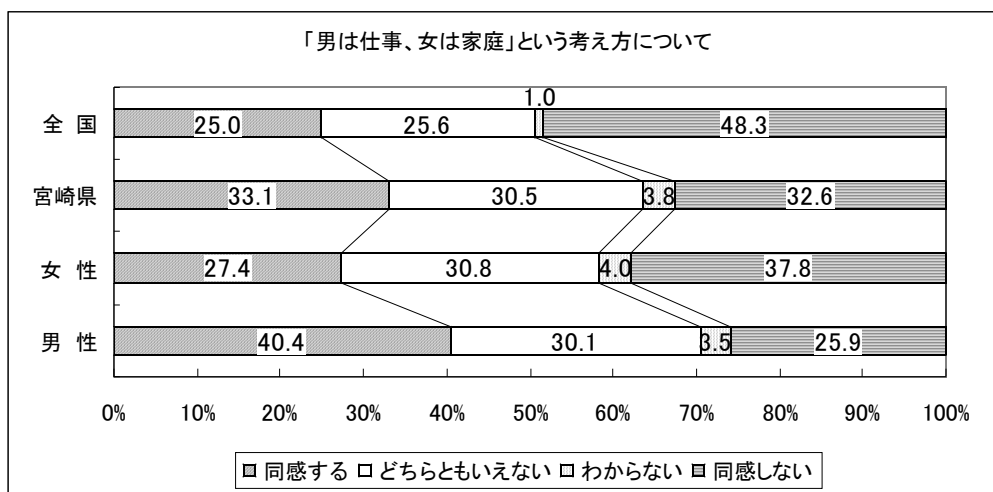
を提供し、男女共同の生活体験を通して、子どもたちに生きる力を身に付けさせる環境づくりが図られているところである。

体験活動のさらなる充実を図るため、親子で参加しやすい環境づくりや、地域の施設等を活用した地域に密着した体験活動の展開が必要である。

(3) 固定的な性別役割分担意識を解消するための広報・啓発活動の推進及び男女共同参画の視点に立った慣習・慣行の見直し

「県民意識調査」によれば、「男は仕事、女は家庭」という考え方に「同感する」と答えた県民は 33.1 % であり、全国の割合 (25.0 %) より 8.1 ポイント多く、性別に基づく固定的な役割分担意識が根強く残っている状況が窺える。

また、男女別では、「同感する」と答えた女性は 27.4 %、男性は 40.4 % となっており、性別による意識の違いが現れている。



資料：「男女共同参画社会に関する世論調査」(内閣府 平成 12 年)

「男女共同参画社会づくりのための県民意識調査」(宮崎県 平成 12 年)

このように、人々の意識の中に長い時間をかけて形作られてきた性別に基づく固定的な役割分担意識やそれに基づく慣行などは、女性のみならず男性にとっても多様な生き方を選択する際に影響を及ぼす場合が考えられる。家庭、学校、職場、地域社会等のあらゆる場面で、男女平等意識を確立していくとともに、男女の社会における活動の自由な選択に影響を及ぼす慣習・慣行の見直しに向けた啓発を推進する必要がある。

【「みやざき男女共同参画プラン」指標の進捗状況】

指 標	単 位	現 況		目 標 値		進 捗 率
		年 次	数 値	年 次	数 値	
男女の地位は平等になっていると感じる人の割合 (社会全体で)	%	H 12	11.9	—	—	—
固定的性別役割分担意識 (「男は仕事、女は家庭」という考え方を肯定する人の割合)	%	H 12	33.1	—	—	—

2 施策の実施状況

(1) 男女平等を推進する教育・学習の充実

事業名	概要	当初予算額（千円）		課(室)名								
		平成16年度	平成15年度									
女性のための人権セミナー	<p>県、市町村、女性・消費者団体、企業等の女性を対象に研修を行い、職場や地域における人権・同和問題への意識の高揚を図る。</p> <p>○15年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H15. 9. 24 日向市 (81名) ・ H15. 10. 1 宮崎市 (87名) ・ H15. 10. 8 都城市 (55名) 	—	737	人権同和対策課								
企業等啓発研修	<p>企業や地域社会の場において、人権問題に関する教育・啓発を行い、県民一人ひとりの人権意識の高揚を図る。</p> <p>○15年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業人権セミナー 3回開催 (135名) ・ 地域人権セミナー 3回開催 (401名) 	*	*	人権同和対策課								
男女共同参画社会づくりのための啓発資料整備事業（再掲）	<p>「みやざき男女共同参画プラン」の趣旨を広く県民に浸透させるため、啓発資料を整備・充実し、市町村、民間団体、学校、企業等に配布する。</p> <p>○15年度実績</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>DV啓発カード</td> <td style="text-align: right;">30,000部</td> </tr> <tr> <td>DV啓発リーフレット</td> <td style="text-align: right;">3,000部</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画パンフレット</td> <td style="text-align: right;">5,000部</td> </tr> <tr> <td>小学生向け啓発誌「できることいっぱい」</td> <td style="text-align: right;">16,000部</td> </tr> </table>	DV啓発カード	30,000部	DV啓発リーフレット	3,000部	男女共同参画パンフレット	5,000部	小学生向け啓発誌「できることいっぱい」	16,000部	(3, 284)	(3, 284)	青少年男女参画課
DV啓発カード	30,000部											
DV啓発リーフレット	3,000部											
男女共同参画パンフレット	5,000部											
小学生向け啓発誌「できることいっぱい」	16,000部											
人権教育開発事業	<p>人権意識を培うための教育の在り方について、人権教育研究校を指定し、幅広い観点から実践的研究を行い、人権教育に関する指導方法の改善及び充実に資する。</p> <p>○15年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権教育研究指定校 都城市立上長飯小学校 学校訪問年3回（11月研究公開） 	348	350	学校教育課								
人権教育総合推進事業	<p>社会教育における人権・同和問題に関する学習を一層充実するために、社会教育関係者を対象に研究協議や情報交換及び研修を実施し、人権教育の推進・充実と指導者の資質の向上を図り、人権・同和問題の解決に資する。</p> <p>○15年度実績</p> <p>企画推進委員会（2回）、行政担当者会、人権教育指導者研修会、学習教材等作成（50,000部）、市町村訪問（20市町村）、人権教育推進市町村事業（6市町）</p>	843	9,390	生涯学習課 人権同和教育室								

(注)「*」は予算額が明確に区分できないもの又は予算を伴わないもの

(2) 個性を尊重する学校教育・地域活動の推進

事業名	概要	当初予算額（千円）		課(室)名
		平成16年度	平成15年度	
地域共同体験活動事業	<p>P T Aを中心に、地域における各種団体等が連携し、地域の実態に応じた各種体験の機会を提供することにより、青少年の豊かな心とたくましく生きる力を育成する。</p> <p>○15年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全市町村で実施 ・内容：宿泊体験活動、大人と子どもの交流活動、奉仕体験活動、伝統芸能伝承活動等 	49,220	50,801	生涯学習課

(3) 固定的な性別役割分担意識を解消するための広報・啓発活動の推進

事業名	概要	当初予算額（千円）		課(室)名
		平成16年度	平成15年度	
ともに進める男女共同参画社会づくり事業	<p>県民をはじめ、行政機関や民間企業の幹部職員を対象にした意識啓発を行い、男女共同参画社会の形成を推進する。</p> <p>①県民に対する意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビスポットの放送 <p>②企業に対する意識啓発（トップセミナーの開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県商工会女性部連合会（H15.5.21（水）） ・宮崎県中小企業団体中央会レディース中央会（H15.6.11（水）） ・宮崎県中小企業団体中央会業種別委員会（H16.1.29（木）） <p>③行政職員に対する意識啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県・市町村の幹部職員セミナー ・期 日：H16.1.30（金） ・テーマ：「男女共同参画社会形成の形成に向けて」 ・講 師：鹿嶋敬氏（日本経済新聞社編集委員） 	865	6,569	青少年男女参画課
男女共同参画社会づくりのための啓発資料整備事業	<p>「みやざき男女共同参画プラン」の趣旨を広く県民に浸透させるため、啓発資料を整備・充実し、市町村、民間団体、学校、企業等に配布する。</p> <p>○15年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> D V啓発カード 30,000部 D V啓発リーフレット 3,000部 男女共同参画パンフレット 5,000部 小学生向け啓発誌「できることいっぱい」 16,000部 	3,284	3,284	青少年男女参画課
新・男女共同参画フェスタ開催事業	<p>講演やワークショップ等を内容とした県民参画型のフェスタを開催し、地域における人材育成を図るとともに、県民への意識啓発を行う。</p> <p>○15年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 H15.9.27（土）～28（日） ・場 所 日向市 ・参加者 1,400名 ・内 容 基調講演、分科会、全体会 	4,057	6,323	青少年男女参画課

事業名	概要	当初予算額（千円）		課(室)名
		平成16年度	平成15年度	
男女共同参画センター運営委託費(再掲)	<p>宮崎県男女共同参画センターにおいて、男女共同参画社会づくりに関する情報提供、啓発、相談、交流事業を行う。</p> <p>①情報提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書、ビデオ、各種資料等の収集整理及び貸出 ・ホームページによる情報発信 <p>②啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報啓発誌の発行 「ブリリアント」年3回 ・男女共同参画講座の開催 ・男性のための土曜セミナーの開催 ・講師派遣事業 <p>③相談事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談（電話・面接） ・専門相談（面接のみ） <p>④交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ登録の促進及び登録グループ代表者交流会の開催 ・交流会、学習会等の支援 	(37,100)	(39,021)	青少年男女参画課

(4) 男女共同参画の視点に立った慣習・慣行の見直し

事業名	概要	当初予算額（千円）		課(室)名
		平成16年度	平成15年度	
新・男女共同参画フェスタ開催事業（再掲）	<p>講演やワークショップ等を内容とした県民参画型のフェスタを開催し、地域における人材育成を図るとともに、県民への意識啓発を行う。</p> <p>○15年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日 H15.9.27（土）～28（日） ・場 所 日向市 ・参加者 1,400名 ・内 容 基調講演、分科会、全体会 	(4,057)	(6,323)	青少年男女参画課

3 今後の取組

(1) 男女平等を推進する教育・学習の充実

学校教育、家庭教育及び社会教育において、自立の意識を育み、男女平等の理念を推進する教育・学習の一層の充実を図る。

地域生活部では、同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、人権意識の高揚を図っていくため、「宮崎県人権教育・啓発推進方針」を策定し、人権教育・啓発の施策推進の方向性を示すとともに、人権啓発フェスティバルや人権セミナー等、男女を問わず、地域住民を対象とした事業を充実していく。

教育委員会では、人権教育研究指定校への学校訪問を実施し、児童生徒の発達段階に即して、各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間等の特質に応じて、学校の教育活動全体を通じての人権尊重の教育の推進・充実を図る。

また、社会教育関係者を対象とした研究協議や情報交換及び研修を実施し、人権教育の推進・充実と指導者の資質の向上を図っていく。

(2) 個性を尊重する学校教育・地域活動の推進

学校や地域において行われる性別や世代を超えた様々な活動を通して、男女がお互いの人格を尊重し、一人ひとりの個性と能力を発揮できるような教育・活動を推進する。

教育委員会では、地域の社会教育施設や文化施設等を活用し、休日を有意義に過ごせる地域の環境づくりや親子で活動する機会の充実など、地域の実態や特性を生かした体験活動の機会の提供を推進する。

(3) 固定的な性別役割分担意識を解消するための広報・啓発活動の推進及び男女共同参画の視点に立った慣習・慣行の見直し

地域生活部では、固定的な性別役割分担意識の解消を図っていくため、啓発誌の発行やメディアを通じた情報提供、男女共同参画フェスタの開催など広報・啓発活動を継続的に行うとともに、宮崎県男女共同参画センターと連携して各種講座やセミナー等を展開していく。

また、施策の一層の推進を図るため、男女共同参画に関する県民意識調査を実施する。